

第111期 中間報告書

平成29年4月1日 ⇒ 平成29年9月30日
(2017.4.1 ⇒ 2017.9.30)

Contents

- P1 トップメッセージ・財務ハイライト
- P3 営業概況
- P4 連結財務諸表
- P5 会社概要・株式状況



領域を越え、限界を越え 新しい創造で、未知なる世界を切り拓く。

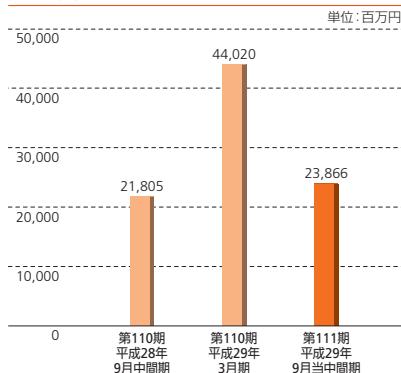


日本金属グループは、永年培ってきた圧延・加工技術を融合し、新しい価値の創出への情熱と、さらなる技術の研鑽・品質の向上により、マルチマテリアルの開発から、領域を越えた分野や用途まで果敢に挑戦し、世界のお客さまの課題に、最適で革新的なご提案でお応えいたします。

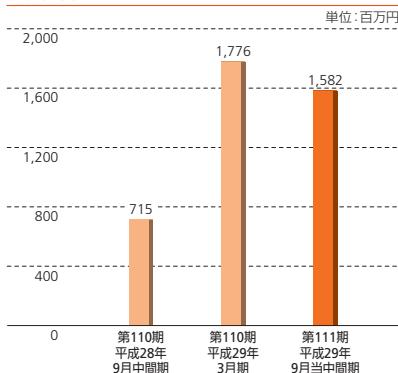
取締役社長 下川 康志

◆ 財務ハイライト

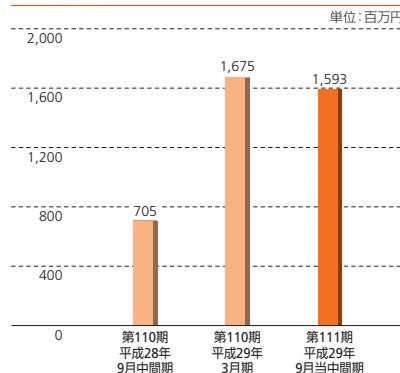
売上高



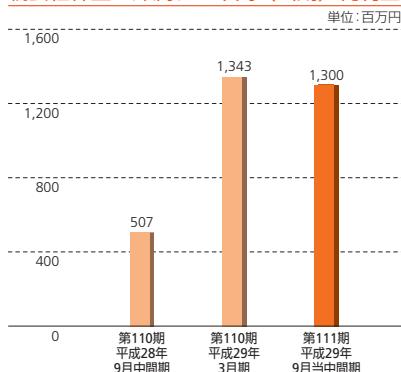
営業利益



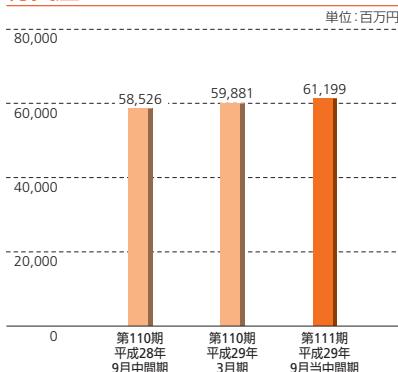
経常利益



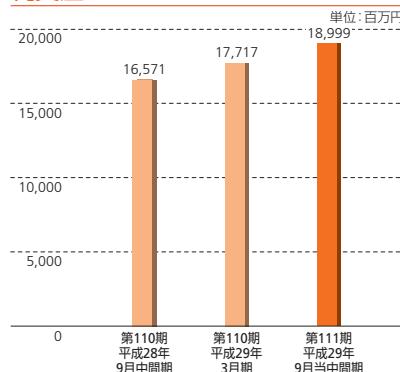
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



総資産



純資産



⇒ 当中間期の経営成績と業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期における経済環境は、国内では、引き続き労働需給面では需要が旺盛で人件費の上昇が見られましたものの、消費動向は大きく変わらず、物価は足踏み状態が続く状況でありました。一方で、国内各社の好決算見通しを受け、当中間期後半より株価は堅調に推移しております。海外では、米国で政治的な不安定さが続いておりますが、米国経済については概ね堅調に推移しており、また、アジア圏におきましても緩やかながら成長が見られ、経済は堅調でありました。

ステンレス業界におきましては、国内では、需要が堅調なため引き続き値戻しが進む環境にあり、海外では、当中間期中ごろまで中国の鉄鋼需要が弱いとの予想から市況の下落が続きましたが、その後は石炭や中国での低品質鋼の取り締まり強化などで鉄鉱石などの原料価格の上昇から市況は底を打ちました。

このような状況で、当社グループは、収益の確保に努め、みがき帯鋼部門、加工品部門共に増収増益とすることができました。

この結果、当中間期における売上高は、前年同期と比べて20億6千万円（9.4%）増収の238億6千6百万円となりました。損益面につきましては、前年同期と比べて、営業利益は8億6千7百万円（121.2%）増益の15億8千2百万円となり、経常利益は8億8千8百万円（125.9%）増益の15億9千3百万円となり、中間純利益は7億9千3百万円（156.4%）増益の13億円となりました。

⇒ 配当について

中間配当につきましては、収益は回復基調にありますが、平成29年5月12日に開示いたしました配当予想にて無配としております。株主の皆様には大変ご迷惑をおかけし、誠に遺憾に存じますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては、平成29年7月31日に配当予想の修正にて開示しておりますとおり、1株につき30円を予定しております。

⇒ 通期の見通し

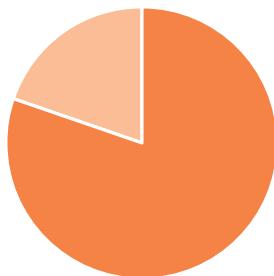
下期におきましては、為替動向や資源価格動向など先行き不透明な状況が続くものと思われま。上期は上記にてご報告申し上げましたとおり、概ね直近の利益予想（営業利益15億円、経常利益15億円、中間純利益12億円）どおりの結果となりました。また、通期の予想につきましては既にお知らせしております数値（売上高475億円、営業利益26億円、経常利益26億円、当期純利益19億円）に変更はありません。

当社グループといたしましては、引き続き業績の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別概況

◆ みがき帯鋼部門

売上高比率
80.4%



みがき帯鋼部門では、冷間圧延ステンレス鋼帯におきましては、自動車向け光モールド用の高品位製品は、北米、中国市場の日系自動車向けが堅調であり、更に外資系自動車メーカー向けの拡販も寄与し増販となりました。また、電子部品につきましても、高精密パネ材がスマートフォン向けカメラの駆動部品や振動部品などの高性能製品に採用され増販となりました。

損益面では、原料高を製品価格に適時に反映できたことで、原料価格の変動のタイムラグによるマージン改善が大きく寄与いたしました。

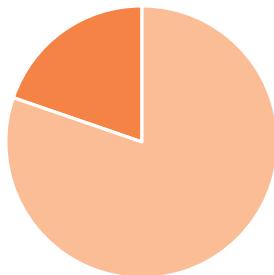
みがき特殊帯鋼におきましては、オートマチック自動車用駆動部品向けが、中国を始めとした新興国におけるオートマチック車比率の向上や燃費対策による多段変速化などで、堅調に推移したことにより増販に寄与いたしました。

マグネシウム合金帯におきましては、スマートフォン、タブレット端末及びモバイルパソコンを中心に拡販活動を展開いたしました。数量の減少で売上高は減少いたしました。

以上の結果、みがき帯鋼部門の売上高は、前年同期と比べ17億8千4百万円（10.2%）増収の191億9千万円となりました。

◆ 加工品部門

売上高比率
19.5%



加工品部門におきましては、福島工場取扱製品の自動車用高精度異形鋼は、新形状で厳格な品質管理を要求された製品の立上げが順調に完了し、量産に寄与したことで需要増となっております。また、独自製品のグレーチング部材も顧客要望に応じた製品の開発に対応したことで堅調に売上が推移しており、更に一般型鋼製品の材料価格上昇に伴う製品価格の適時な是正を行ったことで前年同期に比べて売上高は増加しました。

新技術開発では、異形鋼やフォーミングの高精度・難形状の加工に取り組み、新たな技術を構築し、これ

までは外製化しておりました製品の内製化を実現しました。

岐阜工場取扱製品では、前年に引き続き品質・コスト対応などが評価され受注した大型プラント案件や、温度センサー用ステンレス精密細管の案件受注の獲得、更に高品質に対応したことで採用され、継続受注に至った計測機器用ブルドン管などの新規受注を獲得したことで、前年同期に比べて売上高は増加いたしました。

以上の結果、加工品部門の売上高は、前年同期と比べ2億7千6百万円（6.2%）増収の46億7千5百万円となりました。

➤ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 当中間期 | 前期 |
|----------------|------------------|------------------|
| | 平成29年9月30日 現在 | 平成29年3月31日 現在 |
| (資産の部) | 61,199,843 | 59,881,109 |
| 流動資産 | 30,244,246 | 28,888,957 |
| 固定資産 | 30,955,597 | 30,992,152 |
| 有形固定資産 | 27,746,171 | 27,674,390 |
| 無形固定資産 | 49,688 | 62,591 |
| 投資その他の資産 | 3,159,736 | 3,255,170 |
| 資産合計 | 61,199,843 | 59,881,109 |
| (負債の部) | 42,200,554 | 42,163,644 |
| 流動負債 | 27,971,859 | 25,642,853 |
| 固定負債 | 14,228,694 | 16,520,790 |
| (純資産の部) | 18,999,289 | 17,717,464 |
| 株主資本 | 12,701,452 | 11,713,215 |
| 資本金 | 6,857,000 | 6,857,000 |
| 資本剰余金 | 986,351 | 986,351 |
| 利益剰余金 | 4,868,103 | 3,879,690 |
| 自己株式 | △ 10,002 | △ 9,826 |
| その他の包括利益累計額 | 6,297,836 | 6,004,249 |
| その他有価証券評価差額金 | 881,715 | 831,637 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △ 695,731 | △ 754,887 |
| 土地再評価差額金 | 5,997,931 | 5,852,745 |
| 為替換算調整勘定 | 113,921 | 74,753 |
| 負債・純資産合計 | 61,199,843 | 59,881,109 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

➤ 中間連結損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当中間期 | 前中間期 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日 |
| 売上高 | 23,866,414 | 21,805,717 |
| 売上原価 | 19,653,551 | 18,566,904 |
| 売上総利益 | 4,212,862 | 3,238,812 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,630,238 | 2,523,414 |
| 営業利益 | 1,582,624 | 715,397 |
| 営業外収益 | 140,261 | 126,953 |
| 営業外費用 | 129,574 | 137,126 |
| 経常利益 | 1,593,311 | 705,224 |
| 特別利益 | 95,393 | — |
| 特別損失 | 39,038 | 100,816 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,649,666 | 604,408 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 275,130 | 138,125 |
| 法人税等調整額 | 73,570 | △ 41,106 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,300,965 | 507,388 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

➤ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当中間期 | 前中間期 |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,301,923 | 2,101,589 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 561,086 | △ 280,385 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,690,103 | △ 646,371 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 14,824 | △ 63,332 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 934,441 | 1,111,500 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,034,054 | 5,273,274 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 7,099,612 | 6,384,774 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

⇒ 会社概要 (平成29年9月30日現在)

| | |
|--------|---|
| 創業 | 昭和5年11月10日 |
| 設立 | 昭和14年12月2日 |
| 本店所在地 | 東京都板橋区舟渡四丁目10番1号 |
| 本社事務所 | 東京都港区芝五丁目30番7号 電話 (03) 5765-8111 (大代表) |
| 資本金 | 68億5千7百万円 |
| 連結従業員数 | 842名 |
| 当社従業員数 | 515名 |

⇒ 役員 (平成29年9月30日現在)

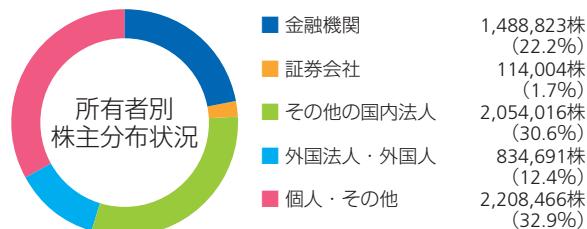
| | | | |
|------------------|------|-------------|------|
| 取締役会長 | 平石政伯 | 常務取締役 | 山下匡史 |
| 取締役社長 (代表取締役) | 下川康志 | 社外取締役 | 小川和洋 |
| 取締役副社長 | 根本恵央 | 監査役 (常勤) | 白鳥栄次 |
| 常務取締役 | 大西敏夫 | 社外監査役 | 山田潤二 |
| 常務取締役 | 原田喜弘 | 社外監査役 | 谷 学 |

⇒ 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 24,000,000株
- ② 発行済株式総数 6,694,573株
(自己株式5,427株を除く)
- ③ 株主数 4,864名
(うち、単元株主数 4,420名)
- ④ 大株主

| 株主名 | 持株数 百株 | 持株比率 % |
|------------------------------------|-----------|-----------|
| 新日鐵住金ステンレス株式会社 | 8,725 | 13.0 |
| 日本金属取引先持株会 | 4,760 | 7.1 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 4,553 | 6.8 |
| 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 | 3,787 | 5.6 |
| JFE商事株式会社 | 2,820 | 4.2 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 1,667 | 2.4 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,561 | 2.3 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,432 | 2.1 |
| 日新製鋼株式会社 | 1,000 | 1.4 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,000 | 1.4 |

(注) 持株比率は自己株式(5,427株)を控除して計算しております。



➤ 日本金属グループ (平成29年9月30日現在)

日本金属株式会社

- ◆ 本社事務所
東京都港区芝五丁目30番7号
〒108-0014 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
- ◆ 大阪支店
大阪府大阪市中央区淡路町三丁目6番3号 御堂筋MTRビル
〒541-0047 電話 (06) 7711-6133 (代表)
- ◆ 名古屋営業所
愛知県名古屋市中区新栄町一丁目1番地 明治安田生命ビル
〒460-0004 電話 (052) 962-6671 (代表)
- ◆ 板橋工場
東京都板橋区舟渡四丁目10番1号
〒174-8560 電話 (03) 3968-6300 (代表)
- ◆ 岐阜工場
岐阜県可児市姫ヶ丘二丁目24番地
〒509-0249 電話 (0574) 63-1071 (代表)
- ◆ 福島工場
福島県白河市東釜子字鹿島1番地
〒961-0303 電話 (0248) 34-2961 (代表)



グループ会社

(海外)

- ◆ 日旌鋼鉄貿易 (上海) 有限公司
- ◆ NIPPON KINZOKU (THAILAND) CO., LTD.
- ◆ NIPPON KINZOKU (MALAYSIA) SDN. BHD.

(日本)

- ◆ 株式会社セフ
- ◆ 日金電磁工業株式会社
- ◆ 日金スチール株式会社
- ◆ 日金精整テクニックス株式会社

➤ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

| | | |
|---|---|---|
| | 証券会社等に口座をお持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合) |
| 郵便物送付先 | お取引の証券会社等になります。 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 |
| 電話お問合せ先 | | フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00) |
| 各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り方法 の変更等) | | みずほ証券 本店及び全国各支店 フラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 |
| 未払配当金のお支払 | みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。) | |
| ご注意 | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 | 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 |

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページ (<http://www.nipponkinzoku.co.jp>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場取引所 東京証券取引所市場第1部

➤ ホームページのご案内



<http://www.nipponkinzoku.co.jp>

➤ 主要製品

| 部門 | 主要製品 |
|-------|--------------------------------|
| みがき帯鋼 | 冷間圧延ステンレス鋼帯、みがき特殊帯鋼、マグネシウム合金帯 |
| 加工品 | 型钢・精密異形鋼等ロール成形品、ステンレス精密細管、電磁製品 |



日本金属株式会社

本社 〒108-0014 東京都港区芝五丁目30番7号
 TEL. (03) 5765-8111 (大代表) FAX. (03) 5765-8116

<http://www.nipponkinzoku.co.jp>